

17 ダビデの祈り

17:1 主よ。聞いてください、正しい訴えを。耳に留めてください、私の叫びを。耳に入れてください、欺きのくちびるからでない私の祈りを。

17:2 私のためのさばきが御前から出て、公正に御目が注がれますように。

17:3 あなたは私の心を調べ、夜、私を問いただされました。あなたは私をためされましたが、何も見つけ出されません。私は、口のあやまちをしまいと心がけました。

17:4 人としての行ないについては、あなたのくちびるのことばによりました。私は無法な者の道を避けました。

17:5 私の歩みは、あなたの道を堅く守り、私の足はよろけませんでした。

17:6 神よ。私はあなたを呼び求めました。あなたは私に答えてくださるからです。耳を傾けて、私の申し上げることを聞いてください。

17:7 あなたの奇しい恵みをお示してください。立ち向かう者から身を避けて右の手に来る者を救う方。

17:8 私を、ひとみのように見守り、御翼の陰に私をかくまってください。

17:9 私を襲う悪者から。私を取り巻く貪欲な敵から。

17:10 彼らは、鈍い心を堅く閉ざし、その口をもって高慢に語ります。

17:11 彼らは、あとをつけて来て、今、私たちを取り囲みました。彼らは目をすえて、私たちを地に投げ倒そうとしています。

17:12 彼は、あたかも、引き裂こうとねらっ

ている獅子、待ち伏せしている若い獅子のようです。

17:13 主よ。立ち上がってください。彼に立ち向かい、彼を打ちのめしてください。あなたの剣で、悪者から私のたましいを助け出してください。

17:14 主よ。人々から、あなたの御手で。相続分がこの世のいのちであるこの世の人々から。彼らの腹は、あなたの宝で満たされ、彼らは、子どもらに満ち足り、その豊かさを、その幼子らに残します。

17:15 しかし、私は、正しい訴えで、御顔を仰ぎ見、目ざめるとき、あなたの御姿に満ち足りるでしょう。

ダビデは主に訴えています。このように私たちはありのままの思いを主にぶつけても良いのです。ただし、その祈りは変わってゆくでしょう。つまり正しいお方である主に答えていただきたいという切なる思いから、祈りは主のみこころになつたものとなってゆくのです。

作者も「私は、口のあやまちをしまいと心がけました。」と言っています。その祈りの中で、彼は「目ざめるとき、あなたの御姿に満ち足りるでしょう。」と、信仰の確信に立つことができました。

ありのままの思いを主に祈り、主によって変えられてゆきましょう。

愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

